

卵

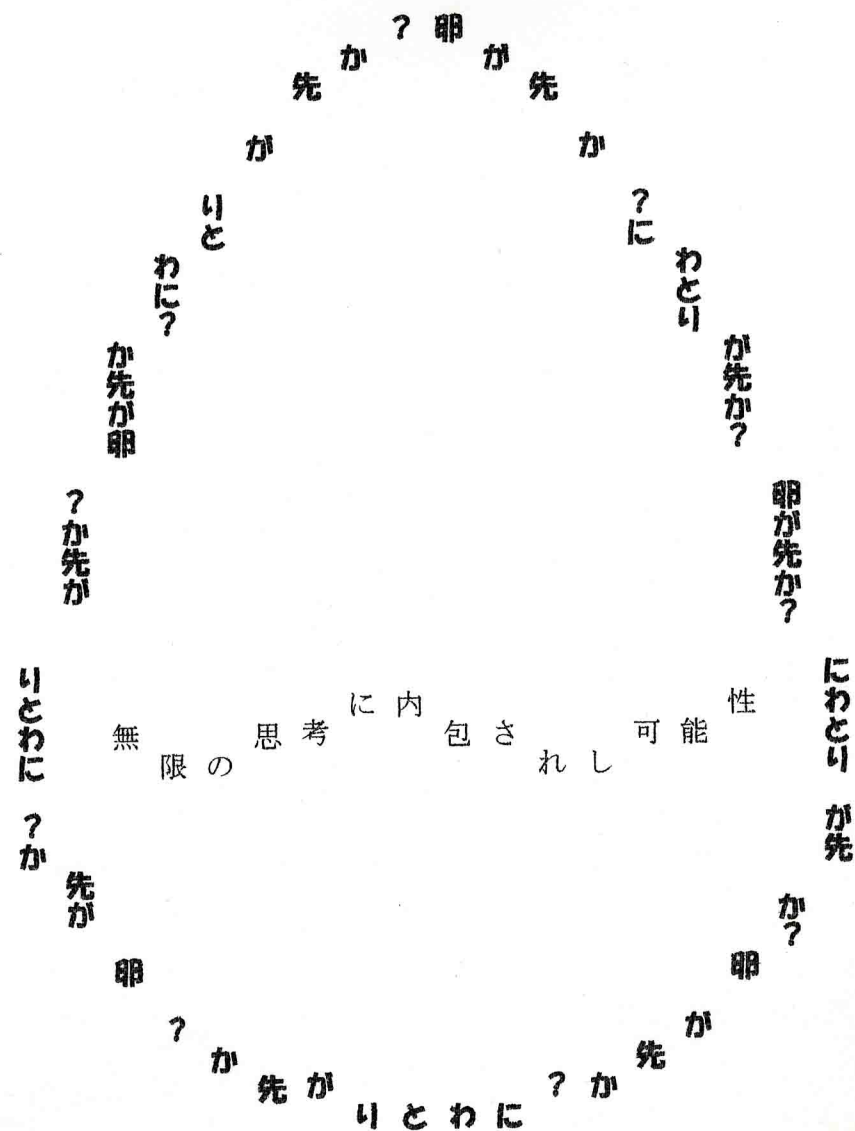
Aブロック 全作品と講評



www.columnland.net/

にて作者さん&読者さんの声実況中

無限の可能性



コロンブスの卵

たいていの人はクリストファー・コロンブスの名を知っているであろう。そのコロンブスにまつわる慣用句で「コロンブスの卵」という言葉がある。話は簡単だ。「大陸発見は西に行けば発見できるのだから誰にでもできる」と言われたコロンブスが卵を取り出し「誰がこの卵を立たせることができるか」と席上にいたものに尋ねたところ誰もできなかった。コロンブスは卵の端をつぶして立たせた。それを見たものは「そうすれば簡単ではないか」と言ったが「分れば簡単だが最初に思いつくことが重要である」と言った。

しかし、なぜ卵だったのだろうか。別に卵でなくても薄っぺらな本でも紙だろうが、なんでもいいだろうと思うのは自分だけだろうか。

たいていの生命がどのように生まれてくるかは別にして、生命誕生の大本とは何かと考えた時に出てくるものは卵であろう。魚や鳥はもちろん、人間もまた然り、卵から生まれてくる。

生命の誕生により、個体は進化の道をたどっている。その過程において我々が享受するものが誕生したことも間違いない。言語であれ技術であれ、進化の過程で生命特に人間が必要としたものの産物であろう。

つまり、卵が我々の生きる世界の「根源」であり、また「母」であることが考えられる。もちろん世の中広い視野を持つて考えてみれば反例も多々存在するだろうが、我々「人間様」の世界を中心に考えれば卵が根源であると考えてもおかしくないであ

ろう。そう考えれば、卵が「最初」として解釈されるべきであると解る。しかし、それだけでは決められない。

そこで、「つぶす」ということに焦点を移す。

卵はかたい殻に覆われている。それは外敵から中身を保護するためである。しかし、我々が食用として用いるためにはその殻を壊さなければならぬ。壊すというリスクを負わなければならない。それは手段だ。

コロンブスが航海をしたときは、多くの船員が反対したという。当時はもちろん「地球は丸い」という概念がなかったものだから船員は乗り気ではなかっただろう。そんな船員たちをまとめ上げなければならないというリスクを負わなければならない。そのリスクを負わなければ、つまり船員に圧倒されて途中でやめてしまえば、西インド諸島は発見されなかったかもしれない。そのリスクを示すという意味で壊さなければものにならない「卵」を例として持ち出したのだろうか。

こんなことを考えるのは私だけだろう。しかし、歴史上のことだからいくら想像してもいいだろう。コロンブスが本当に卵を立てたのかどうかは不明だが、文化や技術の発展には誕生したものに傷をつけなければならぬ。

そうした大胆さは今自分にあるだろうか。そして、日本にはあるのだろうか。

卵のなかの宇宙

卵の形は親と似ても似つかない

卵の中で何が起きているのか？

黄身と白身とカラザがグチャーなっと混沌としていても秩序が生まれる。

だれが仕組んだのだ、そんな難しいこと。

機械でもないコンピュータでもない、単にたんぱく質と栄養の集まり。

どこに仕組みがあるんだ！？

考え出すと眠れない。

ひよつとしたら神様が住んでいるのか？

ひとつの卵に神様がいるなら、世の中に何億もの神様がいることになる。

神様同士うまくやっていけるのか心配になる。

それに、私も女性。毎月卵を産んでる。

すると、神様を生む私っていったい何なんだろう。母神様かもしれない。

宇宙を感じる。私は宇宙。

記念日

おじいちゃんっこだった私は
小さい頃はいつもおじいちゃんについて回って
よくおじいちゃんのまねをした。

だからおじいちゃんが大好きだった卵かけご飯もよくまねして食べていた。

7歳の七五三のとき

この日のために買ってもらったおにゅうのお洋服を着て
この日も朝から卵かけご飯を食べていた。

むかしっから寝坊助だった私は
いつも通り寝坊して急いで朝ごはんを食べていた。

急いでいたからつい手がすべって
抱えていたお茶碗がかたむいたときには
中身は私の洋服の上に落ちていた。

お気に入りの洋服を汚してしまったショックと
ママに怒られている自分の画が一瞬で頭を駆け巡り
私は大泣きした。

結局七五三は普段着で出かけることになった。

だから七五三は記念日。

大好きなおじいちゃんを
初めて大嫌いと思った記念日。

青い部屋

残業からの帰宅途中、住宅街に場違いなプレハブ小屋の前で足を止める。それに気づいて、山高帽に丸い黒眼鏡の大将が扉を開ける。ステロタイプ的ないかにも怪しい風貌は、本人曰く雰囲気作りとのこと。

「とりあえず、六個」

「はい、二十円かけて四百円ね」

卵の入ったザルを受け取り奥の部屋に入る。ブルーシートに覆われた四畳ほどの空間。照明が強すぎる気もするが、それも大将のこだわりらしい。卵を手に取り、まずは軽く壁に向かって投げつける。

クシャ

シートにじわじわ溢れ出す黄色に満足しつつ、次の卵に取りかかる。緩やかだった放物軌道は、段々と直線的になってゆく。

クシャ クシャ クシャ クシャ クシャ ッ

最後の一つを足下に叩き付けた後、紙幣を一枚取り出し大将を呼ぶ。

「ウズラ、これで」

ネクタイを外し、洗面器に積まれたウズラの卵をむんずと掴む。手からこぼれ落ちそうなそれを、まだ綺麗な面にアンダースローで思い切り投げつける。

パシヤン パシヤン パシヤン

青地についた黄色い斑点がだらだらと流れ出す。値は張るものの、やはりウズラは、いい。スーツを脱ぐ。

ひとしきりウズラを楽しんだあと、財布の中身を確認する。大丈夫だ。

「大将、あれ、お願い」

「ついにあれ、やるのか。思っていたよりは、早かったな」

ニヤニヤしながら、大将が奥からそれを持ってくる。十一センチもあるそれは、ご存知世界最大の卵、ダチョウの卵だ。

卵の重量を両手で感じ、期待で胸が震える。軽く床に落としてみると、ゴン、と鈍い音が響き、分厚い殻はびくともしない。レンチと迷ったがやはり王道をとハンマーを選択する。

柄を強く握りしめ、腕をゆっくりと上げる。筋肉が引っ張られる感覚。息を吸う。止める。歯を食いしばる。ハンマーが、風を切る。

汎用鳥形人造生物(Multipurpose Artificial Creature Bird Type:MACB)とは惑星改造プログラムの労力として開発された、鳥の遺伝子をベースとする生体ロボットの総称である。このコラムではMACB(以下、鳥達の生殖能力について記述する。MACBの繁殖方法は完全に外部システムに依存したものになっている。雄雌それぞれから細胞を採取し、それを生殖細胞に変異させ、人工授精させるのである。これは自立的な生殖能力を奪うことで、鳥達の人口統制を行うためであり、これによって人間は鳥達の頭数をコントロールしていた。

人類滅亡後は繁殖活動も鳥達自身の手によって行えるようになり、現在は各自治体が、繁殖管理局(Breeding Administration Agency:BAA)を運営し、各都市に建設された繁殖用人工授精場を利用して体外受精を行っている。MACBのカップルが子供を作ることを決めた場合、市役所に届け出をし、何匹欲しいのかなどを注文した後、それぞれ自分の細胞片をBAAに提出。BAAはそれを人工授精場(俗に「卵工場」と呼ばれる)で人工授精させ、卵を育成する。卵が適齢期にまで成長すると、専用の宅配便で各家庭に送られ、そこで母親に温められ、孵化する。

卵は人工受精時に遺伝的な欠陥がないかチェックされ、問題がある場合は適宜修正されてから育成されるが、(非常にまれなことだが)欠陥を持ったまま生まれる子供もいる。子供が誕生して一ヶ月以内に欠陥が発覚した場合、両親はその子供をBAAに返送することが可能であり、返送された子供は検査、最終的には処分ということになる。欠陥のある遺伝子を残すことは、後世に悪影響を与える恐れがあり、鳥社会では不良因子は早い段階で排除されるのが普通である。しかし、欠陥を抱えた子供を持った親の中では、BAAへの返送をせず、ひっそりと育て続ける者も多い。また、遺伝的な欠陥があるからといって生きる権利を奪われるのはおかしいと訴え、返送制度の中止を求める声も少なくない。

証言:ダーシエンカ・マリワスキー(サルバディア地区在住・キエボ大学在学)

「ニコライ兄さんは、遺伝上の欠陥があつたんです。滅多にないことなただけ。目とかに奇形があつて…成長してからは人格的にも破綻してて、暴力的だったし…。生まれた時点で管理局に返送することもできたんですけど、両親はそのまま育てることにしたんだそうです。私は、母が例の事件で放射線障害で亡くなってから五年後、母の遺伝子情報を再利用して生まれました。欠陥のない普通の子供が、お父さん、ずっと欲しかったんだと思うわ…」

(無差別連続殺人事件の容疑者ニコライ・マリワスキーに関する事情聴取記録より)

ある満月の夜

今にもこぼれ落ちてきそうな満月が真夜中の深い闇にあがっている。満月は人を狂気にさせるというが、どうやら俺もその狂気とやりに蝕まれているようだ。

窓際でじっと月を眺めていた俺は熱に浮かされたようにきみの方を振り向く。そしてまるで壊れ物をさわるかのようにそっと手を触れ、最後の一枚をはがした。

きみは小さくふるりと震え、恍惚とした様子でその白く美しい肌に月の光を浴びせた。

まだどこか恥ずかしそうなきみに俺はそっと唇を近づけてささやく。

「まだ熟していないきみが好きだよ。」

そして俺は赤ん坊のようにけがれを知らないその肌につぷりと齒をたてる。頭の片隅にかろうじて残っていた理性が音を立てて崩れていくのを感じた。

満月は人を狂気にさせるらしい。

ゆで卵を食べ終えた俺は、しばらくの間恥ずかしさのあまり布団から出られなかった。

みんな忘れてる

引っ越しの度に
しまい込んでいたものと
再び出会う

今回も

登場するや否や
大ブームとなり
売り切れ店が続出
電子ペットの先駆けとも言われた
例のアレを

見つけたんだ
机の引き出しの奥から
最後に手にしたのは
いつだったか

並んで
並んで
ようやく手に入れた

必死で世話をして
3日で飽きた
そのまま
引出しの奥へ

苦笑して
今度は

ゴミ箱へと

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
A01	無限の可能性	9 pt かわいい表紙で初発進！ 割れ目に哲学フレーズを組み込んだのが、含蓄深くて ワザあります。 特別賞：がんばったで賞	4 位	1 sp
A02	コロンブスの卵	1 pt なぜ卵？ 解けない謎にリクツを付けてみる。 卵は始まりの象徴なのかな、というリクツに、さらに 「破壊こそ創造」というリクツを上乗せしたところが ユニークでした。二段重ねのワザなんて、なかなかで きない豪腕です。 特別賞：息切れで賞（前半おもしろいが後半つかれて る感じ）	8 位	1 sp
A03	卵のなかの宇宙	9 pt ちっちゃな卵から連想を転がして宇宙へ。 友だちトークを聞いているような親近感で浸っている と、いきなり不意打ちで「毎月、卵を産んでる」。そ こが輝いてました。 イチオシフレーズ：「私は宇宙」× 2	4 位	0 sp
A04	記念日	4 pt 思い出ほのぼのお洋服。 語り過ぎず、「記念日」でさくっとまとめたところ が、べたつかなくてGood。キーワードの効かせ方が うまいです。 イチオシフレーズ：「おにゅうのお洋服」	6 位	0 sp
A05	青い部屋	14 pt クシャクシャパッション、そんなストレス解消法。 3パターンつくったサーヴィス精神が、だんだんヒート アップしてゆく読者の気持ちに、うまくシンクロして、 こちら盛り上げられます。ラストシーンの止め方も あざやかでした。 おめでとうブロンズ・メダル！	3 位	0 sp
A06	(汎用鳥形人造 生物)	3 pt 遺伝子のコントロールの1事例。欠陥遺伝子に生きる 権利はあるのか？ 現代の生命倫理につながりそうな深 い問いをSF仕立てでじょうずにご提供いただきました。 SFって、どうしても設定説明でぎゅうぎゅうになるの ですが、ちゃんと問いまで行けてたところ、良かった です。 特別賞：オタク賞（僕が好きな小説に雰囲気似ていて とてもいい） 頑張ったで賞（長い！） 読みづら いっ賞（漢字多い）	7 位	3 sp
		24 pt	2 位	7 sp

A07	ある満月の夜	わはははは。ラストのおふとんシーンのお馬鹿さにやられました。 大げさに展開するから、このラストが効くのですよね。ナイス！ 首位こそハナ差で逃したけれど、みなさまのツボに大ヒットで驚異の最多特別賞&イチオシフリーズ大賞 ゲットです、おめでとう!! 特別賞：完熟賞（ドキ☆とした） 神秘賞（卵と女性 がリンクして神秘的だった） 官能賞（すさまじい！の 一言に尽きる） 中二賞（せのび感がいい。初々しくて いい） 頑張ったで賞（よくこのような内容を書けた な!!） カン違いさせるで賞（ある1人が強く勧めたか ら） アダルティー賞（この内容を書いて提出した勇氣 に天晴！） イチオシフリーズ：「まだ熟していないきみが好きだ よ」×8 「恥ずかしさのあまり布団から……」×2
A08	みんな忘れてる	25 pt1 位3 sp そんな悲しいたまごっち。あちこちで思い出トークに 花が咲きましたね。 親近感を醸し出しつつ、さわやかエンドで初セッショ ンの勝ち名乗り、おめでとう!!! 特別賞：そんなのあったで賞（心にしみたから） たま ごっち賞（昔なつかしいから） よくあるで賞 イチオシフリーズ：「例のあれ」「みんな忘れてる」

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
B01	(すきやき)	15 pt4 位1 sp ささやかな、けれども、いとおしいしあわせ。 少年のはずむ姿が見えてくるような。 すきやきのひとことに、思いがぎゅっと詰まって、まさ に省略の芸。 この1作にて作者さんのハンドルネームは「すきやき」 と決定したとかしないとか。 特別賞：奥深いで賞（スキップを卵を買ったあととはでき ないなどと考えられるのが奥深い） イチオシフリーズ：「今夜はすきやきだ」×4		
B02	町の卵屋さん	0 pt8 位0 sp 思い出は霧のかなた。敢えて町の名前などを特定せず に、その茫漠感を演出したところが、良かったです。 ソフトフォーカス、だから、都会にして田舎という場所 の「温かさ」が誰にも経験あるものとして、しっかり伝 わってきます。		
B03	(ある原っぱ に)	17 pt3 位1 sp かわいい絵本テイスト。なのに、悲劇。 そのギャップがすてきです。残酷さはこうして真綿にく るまれてやってくるもの、かも。 さいごから3行目「ひながじぶんの子どもではなかった ことに、とりは気づきませんでした」だけ解説っぽく て、むしろ要らないかなと思ったのですが、どうでしょ う。 ブラックテイストはBブロック好みでもあったでしょう か。ブロンズ・メダル、ゲットです、おめでとう！ 特別賞：ギャップ賞（ひらがな多めな絵本っぽいけど内		

		容暗めでおもしろい)
B04	カップの卵	20 pt 2 位 2 sp まさかの実話？ でもなさそうですが、コミカルに展開して、ちょっと学校という場をもからかって、と王道のとぼけ路線、ジャストミートの銀メダル、おめでとう!! 特別賞：ベスト・カップで賞（オチはわかるのに、笑わせる文章力はすごい） カップ賞（作者の考え方がすばらしい） イチオシフレーズ：「ついに私は自分を欺く限界に達しました」「こいつはカップじゃない、にわとりだ。」×2 「私は小5にして初めて詐欺にあいました」
B05	ぼくのたまご	8 pt 5 位 0 sp メッセージ性のあるポエム。 ひらがなのやわらかさで、そのメッセージが強すぎない、さじ加減が成功してます。 「どりよくというなのぬくもりで」の1行だけ、語りすぎの憾みがある気がしましたが、いかがでしょう。
B06	物価の優等生？	3 pt 7 位 2 sp 物価の優等生ってホント？ よく知られているフレーズのウラを疑うづくりが、とても分かりやすい。データ部分がもっとしっかりできてると、よりパワフルになると思います。 特別賞：まじめで賞（優等生だから） コラムっぽいで賞 イチオシフレーズ：「いまでは卵も立派な工業製品みたいなものだから」
B07	拝啓、殻の中の君へ	4 pt 6 位 1 sp アヒルかな？ あとに続くヒナたちへの、ちょっぴり先輩の立場からのアドバイス。その遠すぎない距離感が、今の自分たちへの応援メッセージとして、とてもすがすがしく響きました。 特別賞：フけてるで賞？（おめー大学生か？）
B08	キミはなんの卵？	22 pt 1 位 7 sp 見た目勝負。 一瞬で読めて、でも背景に「海女」なんてさりげなくミョウなものも入ってて、短くも長くも楽しめる逸品でした。 いきなりの三冠王。首位&最多特別賞&イチオシフレーズ大賞の快挙です。おめでとう!!! 特別賞：奇抜賞（デザイン） 構成賞（まんま構成がよい） ベストデザイン賞（分かりやすいから） アイデア賞（レイアウトがこっていてよかった。しかし、もうすこしたまごにトゥルトゥルの立体感がほしかった） ヴィジュアル賞（キミを君とかけている） アイデア賞（よく思い付きましたね） 努力したで賞（卵の形をつくったところがすごくがんばってる） イチオシフレーズ：「シャーマン」×2 「キミはなんの卵」 「編集者×2」（←よく見つけた!） 「君」×2